

事業概要

九州電力グループは、いつの時代においても、お客さまに電力・エネルギーをしっかりと届けるとともに、社会・生活の質を高めるサービスを提供することを通じ、快適で環境にやさしい持続可能な社会の創造に貢献します。

将来を見すえた電力の安定供給

電気事業においては、安全を最優先に、質の高い電気を安定的かつ効率的にお客さまにお届けし続けることが私たちの基本的使命であり、最大の社会的責任と認識しています。そのため、電力需要の動向に的確に対応し、効率的な設備形成を図るとともに、停電減少に向けた取組みや設備運用・管理の高度化、大規模災害時における早期停電復旧に向けた取組みなどを通して、これまで高めてきた供給信頼度水準及びユニバーサルサービスを引き続き維持していきます。

電源ベストミックス

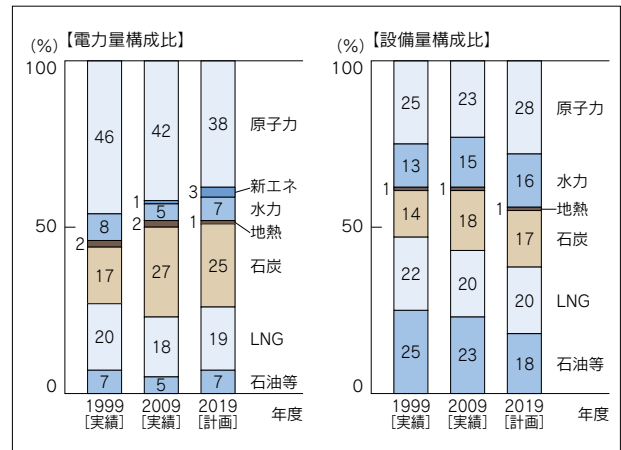
エネルギー資源の乏しいわが国は、エネルギー自給率が4%（原子力を国産エネルギーとする場合は19%）と低く、大部分を海外からの輸入に頼っていることから、世界の情勢に大きく影響されることとなり、エネルギーセキュリティの確保が極めて重要です。

さらに、地球温暖化への対応として、二酸化炭素（CO₂）等の温室効果ガスの排出削減に向けた取組

みが喫緊かつ持続的な課題となっています。

当社においては、エネルギーの長期安定確保及び国が目指す低炭素社会の実現に向けて、原子力を電源の中核と位置づけて推進するとともに、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを積極的に導入していきます。

▼電源多様化計画（他社受電分を含む）



▼低炭素社会に向けた電源の位置づけ

電 源		位 置 づ け
非化石エネルギー	再生可能エネルギー	・国産エネルギー有効活用の観点から、また地球温暖化対策面で優れた電源であることから、積極的に開発、導入します。 〔開発目標：電力量構成比10%程度〕
	原子力	・燃料調達の長期安定性、運転時にCO ₂ を排出しないこと、経済性など、エネルギーセキュリティ面、地球温暖化対策面などで総合的に優れていることから、電源の中核として開発を推進します。 〔開発目標：電力量構成比50%程度〕
火力	石炭	・資源量が豊富で、調達の安定性、経済性にも優れていることから、当面既存設備の有効活用を図ることとし、将来的には石炭ガス化複合発電（IGCC）、先進的超々臨界圧発電（A-USC）、CO ₂ 回収・貯留（CCS）などクリーンコールテクノロジーの開発動向を見ながら、電力需要動向に応じて必要な時期に開発します。
	LNG	・燃料調達の長期安定性、環境性、運転性能に優れていることから、ミドルおよびピーク対応として、電力需要動向・燃料情勢および経年石油火力の休廃止を踏まえ必要な時期に開発します。その際、高効率ガスコンバインド化によりエネルギーの有効活用およびCO ₂ 削減を図ります。
	石油	・賦存量の制約および多用途に利用可能であることから、今後も引き続き価格の高騰および調達の困難化が予想されます。そのため、ピーク時および緊急時対応用として必要な量を確保した上で、既設の高経年、低効率火力は、計画的に廃止します。
揚水	・負荷追従性に優れ、起動停止が迅速に行えることから、ピーク時および緊急時対応用の電源として開発します。	

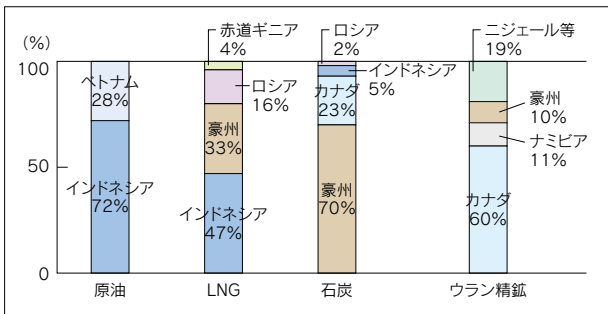


燃料の長期安定確保への取組み

● 燃料の供給源の分散化などの推進

世界のエネルギー需給の構造的なタイト化を背景に、資源ナショナリズムの動きが強まり、燃料確保が困難化するとともに、資源価格の高騰が懸念されます。燃料の長期安定確保のため、長期契約を基本として、燃料の供給源の分散化、燃料の生産から輸送・受入・販売までのサプライチェーンへの関与強化などに取組んでいます。

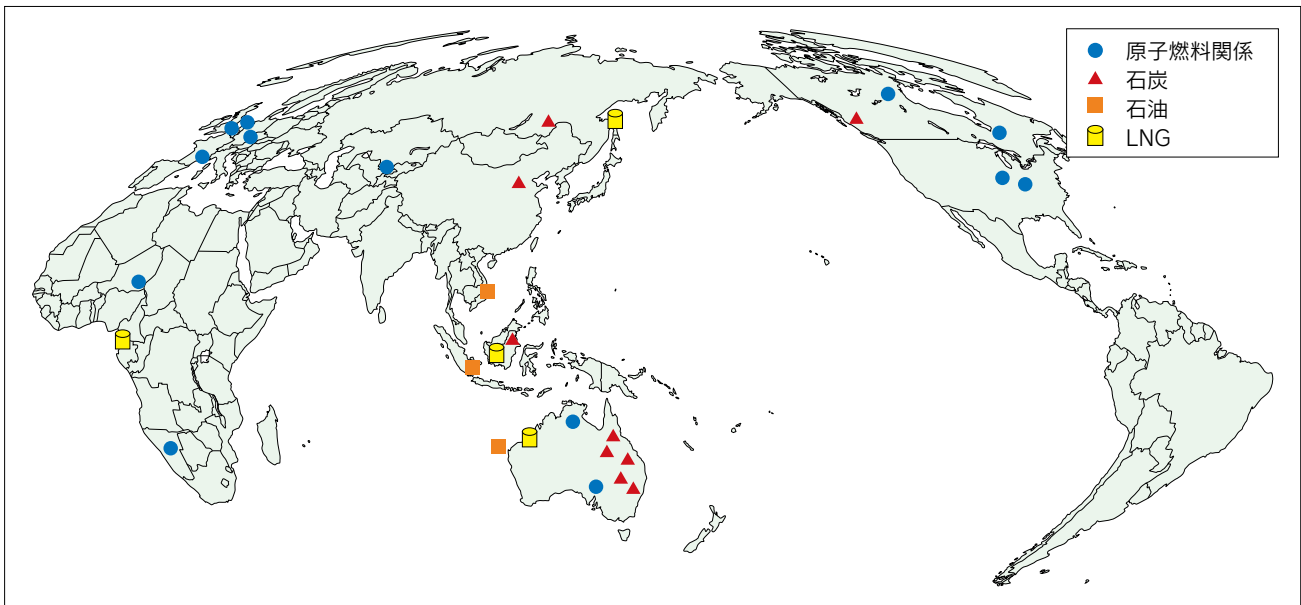
▼燃料調達状況(2009年度実績)



● ウランなどの上流権益の取得への取組み

世界的なエネルギー需給のタイト化が進む中、当社が必要とする燃料を長期安定的に確保するため、2007年9月からカザフスタン共和国の新規ウラン鉱山開発・生産プロジェクトに参画しているほか、2010年1月に豪州の新規LNG開発・生産プロジェクトへの参画について基本合意書を締結するなど、上流権益の取得を進めています。

▼調達先の分散化



■ ウラン鉱山プロジェクトへの参画

- 鉱山名：ハラサン鉱山(カザフスタン共和国)
- 生産量：5,000トン(MTU)/年
- 引取量：50トン(MTU)/年
- 権益取得比率：2.5% (日本側6社のうちの当社比率)

■ LNGプロジェクトへの参画(基本合意)

- プロジェクト名：ウィートストーン・プロジェクト(豪州)
- 生産量：860万トン/年(予定)
- 引取量：80万トン/年
(権益分11.6万トン/年、購入分68.4万トン/年)
- 権益取得比率：1.3725%

● 安定的かつ効率的な燃料輸送

2009年4月に就航した自社LNG輸送船や当社石炭輸送専用の契約船、当社原重油国内輸送専用の契約船などの運航を通じ、輸送コストの低減と安定調達の実現を図っています。

自社LNG輸送船の概要

- 船名：パシフィック・エンライトウン
- 積載量：145,400m³(約6.7万トン)
- 全長：288m
- 全幅：49m
- 就航プロジェクト：西豪州LNG

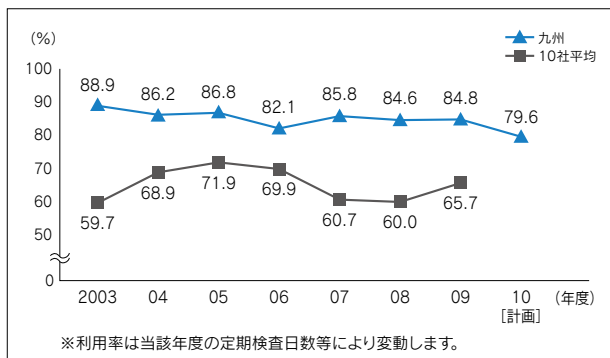
各電源ごとの取組み

●原子力発電の推進

原子力は運転時にCO₂を排出しないため、地球温暖化対策を進める上で重要な役割を担っています。

今後とも、原子力利用率を高水準で維持していくため、原子力発電所の安全・安定運転の継続、定格熱出力一定運転の実施や予防保全対策の徹底などに取り組むとともに、川内原子力発電所3号機の増設計画を進めます。

▼原子力利用率の推移



●小丸川発電所の着実な開発

揚水発電所は、負荷追従性に優れ、起動停止が迅速に行えることから、ピーク時および緊急時対応用の電源と位置づけています。小丸川発電所は、2台が2008年度までに運転開始していますが、今後とも着実な開発を進め、2011年度までに全台(最大出力120万kW、30万kW×4台)を運転開始する計画です。

●水力発電設備のリニューアルやダム管理の高度化

集中豪雨の多発化など自然環境の変化や設備の高経年化に適切に対応できるよう、水力設備のリニューアル(水車・発電機の総合更新、再開発)やダム管理の高度化を進め、水力資源の有効活用を図ります。

具体的取組み

- 塚原発電所の総合更新(2018年度運転開始予定)
- 放流能力や排砂機能の向上などを目的としたダム改造
- 気象・水象観測装置の増設など降雨・河川流量予測精度の向上
- 河川状況監視網の強化

●火力発電の高効率化

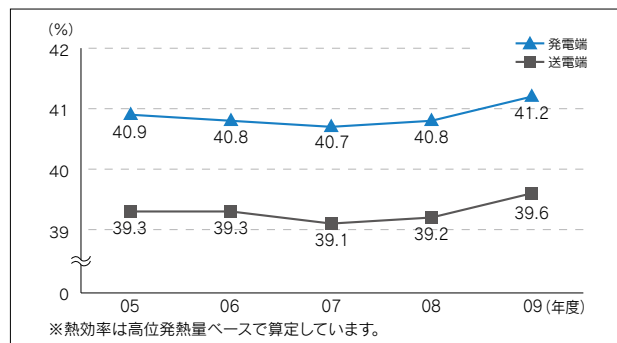
火力発電については、長期にわたり安定的に燃料を確保するため、LNG(液化天然ガス)、石炭など燃料の多様化を行うとともに、CO₂排出量の削減及びエネルギー有効利用の観点から、発電効率の向上に努めています。

具体的には、2009年から2012年にかけて新大分発電所1号系列6台のガスタービンを順次高効率型へリプレースし、熱効率を3ポイント程度向上させるほか、環境面、燃料情勢などを考慮し、同発電所の3号系列第4軸として、最新鋭コンバインドサイクル(40万kW級)を2016年に開発することとしています。



新大分発電所(LNG火力)

▼火力総合熱効率の推移



●再生可能エネルギー

風力・太陽光・地熱などの再生可能エネルギーについては、積極的な開発・導入を進めます。(P.13 Close up1に詳しく掲載しています。)

長期的に安定した効率的な設備の形成・維持

●大規模長時間停電を生じない強固でシンプルな系統構築

電力流通設備については、需要動向、お客さまからみた供給信頼度、設備の安全面や運用面、コスト等を総合勘案し、長期的な観点から効率的な設備形成を図っています。

当社は、通常想定される設備の事故・不具合で停電を生じないことを基本に設備形成を行っていますが、大規模な自然災害などで設備が破損しても広範囲・長時間の停電を生じないような基幹系統を構築することにも取り組んでおり、現在、関係者の方々のご理解・ご協力を得ながら50万V北九州幹線の建設を進めています。

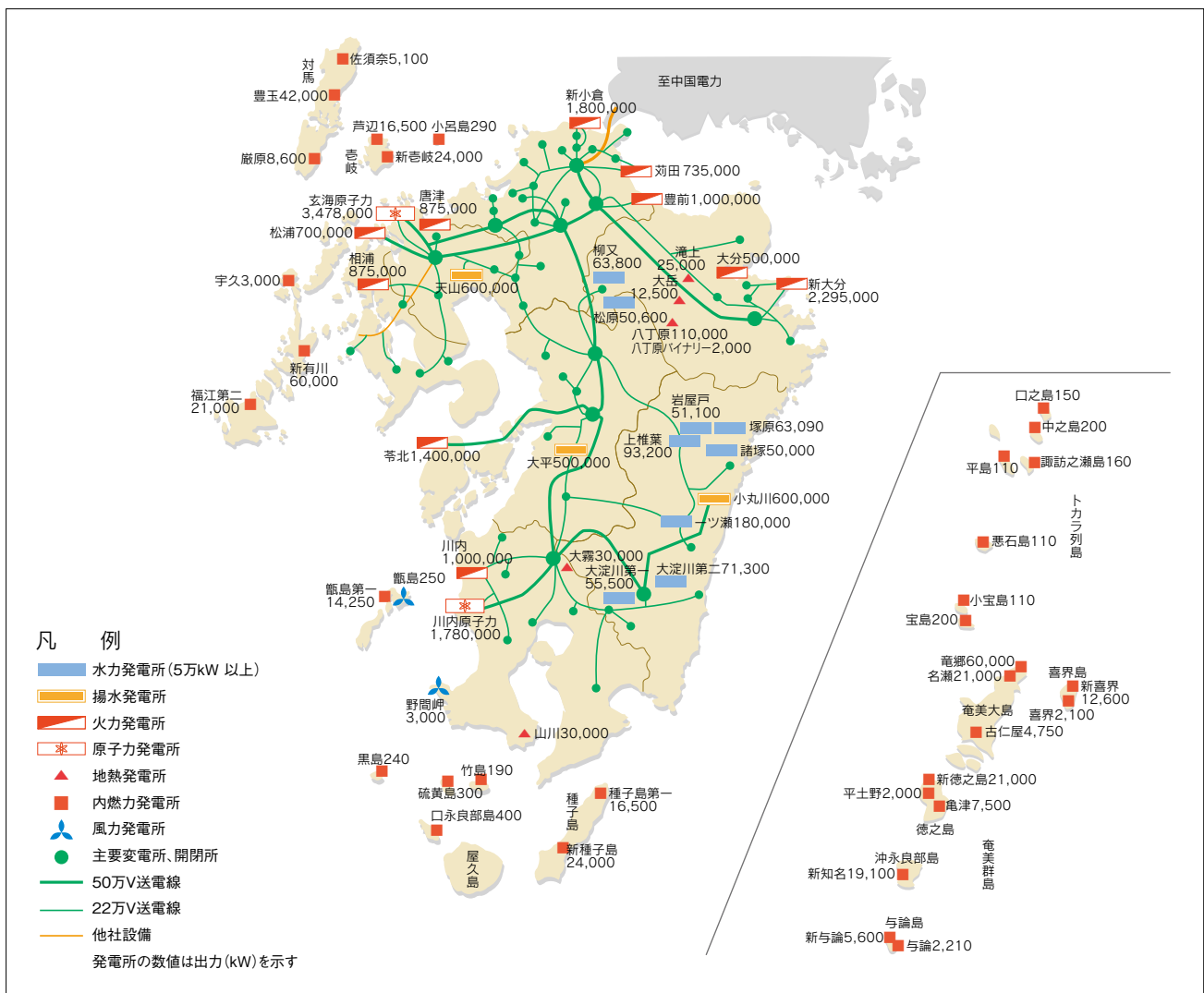
さらには、50万V日向幹線(大分～宮崎間)の建設を計画しています。

●計画的な設備更新

今後は、経済成長に伴う電力需要の伸びにあわせて建設した設備の高経年化が進展していくことから、長期的に安定した設備維持を図るため、経年の進んだ送電設備(鉄塔、電線ほか)、変電設備(変圧器、遮断器ほか)、配電設備(電柱、電線、柱上変圧器ほか)などに対する重点的な点検・補修や、計画的な設備更新に取り組んでいます。

その他、設備不具合・劣化データの分析結果を踏まえた設備の寿命推定精度の向上など、高経年設備の更新計画策定に向けた調査・分析を積極的に実施しています。

▼主要供給設備(2010年3月末)



長期安定的な供給に向けた研究・開発への取組み

● スマートグリッドや再生可能エネルギー利用拡大に関する研究

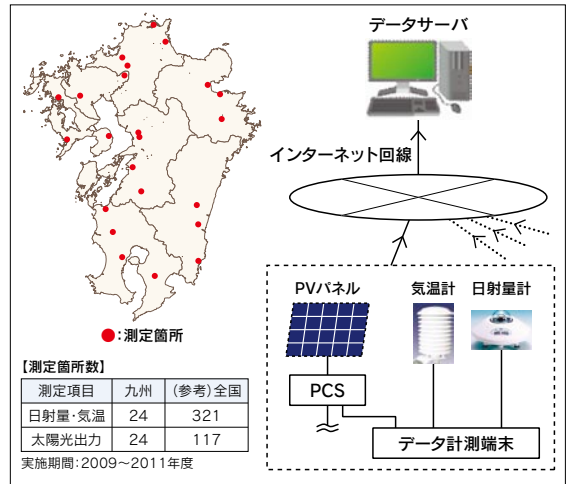
環境にやさしいエネルギーの安全・安定的な供給に向けた研究・開発に取り組んでいます。

● 太陽光発電出力等のデータ計測・収集、電力系統への影響評価

当社は、時々刻々と変化する電力需要にあわせて、火力や水力の運転を調整し、高品質な電気をお客さまにお届けしていますが、将来、出力が不安定な太陽光発電が大量に普及した場合、このような需給バランスの制御が一層、複雑かつ難しくなることが予想されます。

このため、太陽光発電の出力変動特性や広域的視点でみた平滑化効果の確認を目的に、他の電力会社と共同で、日射量、気温及び太陽光発電出力を時刻同期(1秒単位)をとりながら計測するとともに、太陽光発電が大量に導入された際の電力系統への影響評価を進めています。

▼ 太陽光発電出力等の計測箇所及び測定イメージ



● 離島マイクログリッドシステムの実証試験

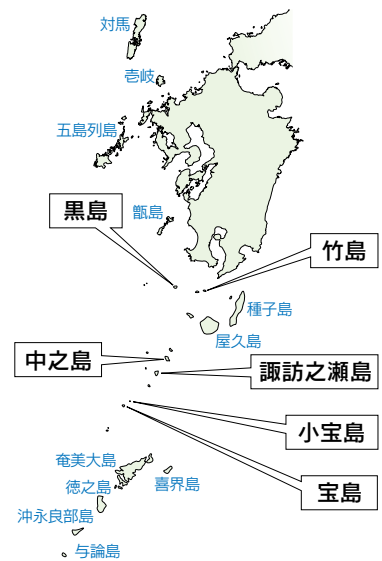
次世代電力システムに関する検討の一環として、離島マイクログリッドシステムの実証試験を行っています。

本土と連系していない離島の電力供給は、島内の内燃力発電(ディーゼル発電)を中心に賄っていますが、エネルギーセキュリティ及び地球環境保全の観点から、太陽光、小型風力等の再生可能エネルギーと蓄電池に従来の内燃力発電を加えた「マイクログリッドシステム」を2009年度に構築し、2010～2012年度まで、電力系統の運用・制御面での課題や経済性の検証・評価に関する実証試験を実施します。

具体的には、鹿児島県内の離島6島に実証試験設備を設置し、昼間の太陽光発電出力の余剰分を蓄電池に充電して、夜間に放電する試験(太陽光発電出力の時間帯シフト)や、天候等により変動する太陽光発電出力を、蓄電池で補償する制御試験(太陽光発電の出力変動補償・平準化)を行います。



黒島の実証試験設備(鹿児島県)



褐炭(低品位炭)資源有効利用の取組み

褐炭とは生成時期が新しい、十分に石炭化が進んでおらず水などの不純物を多く含む石炭です。現在、日本の発電や製鉄などでは全く利用されていません。しかし、急激な資源消費が進展する中、この褐炭に世界中が注目し始めています。

当社はこの褐炭資源の1/3(700億トン以上)を保有するオーストラリアビクトリア州と「ビクトリア州褐炭高度利用技術開発」の協力関係を結び、ビクトリア州政府、研究機関と協力して褐炭資源の有効利用に資する技術開発に着手しました。

将来、技術が確立されれば、当社の安定した燃料としても期待できます。



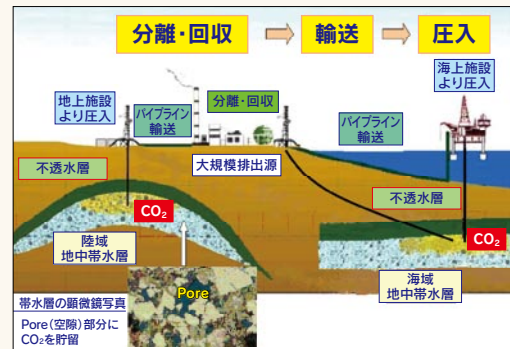
ビクトリア州褐炭採掘現場

CCS(CO₂回収・貯留)技術

CCS(Carbon Dioxide Capture and Storage)は、火力発電所等の大規模排出源の排ガスから二酸化炭素を分離・回収し、それを地中に長期間にわたり貯留または隔離することにより、大気中への二酸化炭素放出を抑制する技術です。CCSは、将来、地球全体のCO₂排出量の大幅削減に貢献する革新技術として可能性が注目されていますが、多くの課題も存在します。これらの課題の克服、さらには潜在する課題を明らかにするために、今後、国が主導する技術開発などに積極的に協力し、CCSに関連する技術評価や動向把握に努めていきます。

(出典：経済産業省産業技術環境局資料「CCS2020」)

▼帯水層貯留の概念図



余寿命診断技術に関する研究(設備の経年化診断)

高温高压の蒸気条件で運転されるボイラや、高速回転によって応力が加わるタービンなどの損傷を未然に防ぐため、金属材料の組織を見て損傷を評価する方法で材料の経年化を診断する技術を開発しています。さらに検査の効率化を図るため、硬さによる判定法を使った簡易的な寿命診断技術を開発し、高精度な寿命評価技術の研究開発にも取り組んでいます。

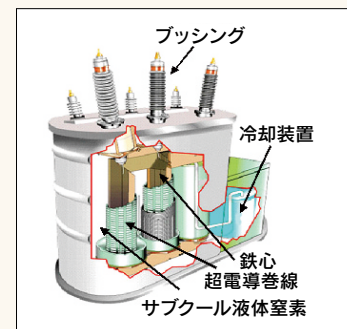
超電導技術への取組み

当社では、超電導技術は低炭素社会に貢献し、新たな電力系統制御や電力輸送コストの低減などに貢献する技術として、超電導変圧器の開発を主体に取り組んでいます。

超電導変圧器は、超電導技術を活用することにより高効率化(低損失)、保守性の向上(不燃性)、小型化(設置スペース削減とそれによる容量増)に対応可能なことから、資源エネルギー庁の「イットリウム系超電導電力機器技術開発：2008～2012年度」を受託して開発しています。

これまでに、イットリウム系超電導線材、世界初の巻線の低損失化技術、冷却装置用の高効率タービン、及び超電導の常電導へ転移する現象を活用して事故電流を抑制する限流機能を開発しました。

今後は、開発した成果をもとに、2MVA級変圧器システムや限流機能を備えた数100kVA級変圧器モデルを試作・検証を行うとともに、それらの成果に基づき、20MVA級実用変圧器を設計し、特性や導入効果を評価し、早期実用化を目指す予定です。

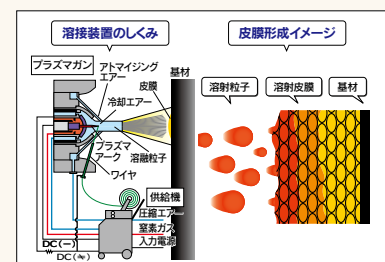


20MVA級実用超電導変圧器概念図

長期間、錆から守る「コーティング技術の開発」(プラズマイヤー工法)

電力会社は、発電・送電・配電設備など、鉄でできた多くの構造物を有しています。当社は、これらの設備を長期間安定的に使用するために、低コストで高い防錆効果のある新しいコーティング技術を開発しました。従来は、高分子の塗料やめっきなどで定期的に塗替えを行ってききましたが、本工法は金属(アルミニウム-マグネシウム)をプラズマの高温中で溶かして吹き付けるもので、一旦施工すれば、長期間錆を防ぐことができます。

また、長期にわたり設備が安全に使用できるだけでなく、塗替えに伴う大規模な工事が不要となり、保守が簡単で経済性の高い技術です。さらに、VOC(揮発性有機化合物)発生を大幅に低減でき、土壤中に多く含まれるアルミニウムとマグネシウムの合金を使用するため環境に優しい技術といえます。



溶射装置のしくみと皮膜形成イメージ

快適性・環境性の両立した付加価値の高いサービスの提供

供給信頼度維持への取組み

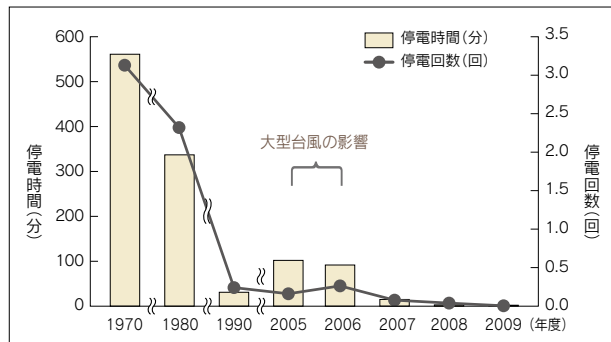
ユビキタス社会、高度情報化社会、電化の進展などにより、お客さまニーズは多様化・高度化しており、これまで以上に安定した質の高い電気をお客さまにお届けし、安心してお使いいただくことが重要になっています。このため、当社は、日頃から設備の巡視・点検・補修、安全かつ効率的な運用、及び工法の開発・改善に取り組んでいます。

● 停電事故の未然防止

送電線や配電線の停電事故を未然に防止するため、設備巡視の強化による危険箇所の事前把握及び対策の実施や、鳥獣の営巣防止などに取り組んでいます。また、電線への樹木接触による停電事故や設備の破損を防止するため、電線との離隔調査や樹木伐採などについて、関係者の方々のご理解・ご協力を得ながら継続的に実施しています。

その他、雷や台風などの自然災害による停電事故の低減に向けた設備強化や、設備状態に応じたきめ細かいメンテナンスなどにも取り組んでいます。

▼お客さま1戸あたりの年間停電時間・停電回数の推移



● 運用・管理の高度化

電力系統の運用を行う部門では、24時間体制で周波数・電圧などの電力品質や系統信頼度の監視、及び機器の制御を行っています。例えば、平常時は、設備の状況や電気の使われ方に合わせて、電源の運用や電力系統の停止調整、系統切替等を行い、停電が発生した場合は、事故点を自動的に電力系統から切り離して別ルートで電力を供給するなど、迅速・適切な事故処置を行い、停電範囲の極小化や停電時間の短縮を図っています。

発電や送変電設備の建設・管理を行う部門では、ITシステムの活用により、設備や業務などに関する全ての情報を一元管理するデータベースとともに個別機器毎の「設備カルテ」を整備し、異常兆候の早期把握や劣化傾向の把握・分析などを行っています。また、配電部門においても、光ケーブルを利用した遠隔制御システム導入拡大、ITを活用した業務改革などにより、供給信頼度の維持に努めています。

さらに、配電作業においては、無停電で実施するなど、お客さまへの影響が少なくなるように努めています。



無停電工法

[ホームページ](#)

企業情報 → 技術開発情報

● 瞬時電圧低下(瞬低)への取組み

送電線への落雷時、停電を防ぐためにその送電線を電力系統から瞬時に遮断しますが、ごく短い時間(大半が50~200ミリ秒)に、落雷を受けた送電線を中心に電力系統の電圧が低下(瞬低)します。瞬低は家電製品等の使用にはほとんど影響しませんが、電圧低下に敏感な機器の一部では、機器の停止や誤動作などが生じる場合があります。

このため、瞬低の発生頻度や影響を低減する対策として、設備の強化や故障除去の高速化、送電用避雷装置(限流アークホーン)の設置等に取り組んでいます。

また、ご要望に応じてお客さまの設備を調査し、瞬低に弱い箇所の部分的な強化策など、お客さまの設備やニーズに合わせた技術的なコンサルティングを行っています。

[ホームページ](#)

雷情報→瞬時電圧低下

● 大規模災害への対応

台風・地震などによる災害時または災害発生が予想される場合は、非常災害対策組織を設置し、協力会社や行政機関等と連携して、迅速な停電復旧に努めています。

また、毎年、台風シーズン前の7月に、①指揮命令系統における各自の役割分担確認、②迅速・的確な被害状況の確認と復旧処置の立案・実施、③社内外への迅速・的確な情報提供、④迅速・的確なお客さま対応、を目的とした大規模非常災害対策訓練を実施し、実際の災害に備えています。

また、過去の災害経験から、自衛隊の大型ヘリコプターによる発電機車などの特殊車両の空輸技術の開発に継続的に取り組むとともに、自衛隊と訓練を重ね、台風や地震等の際、停電地区が孤立した場合も、ライフラインの迅速な復旧作業ができるよう努めています。



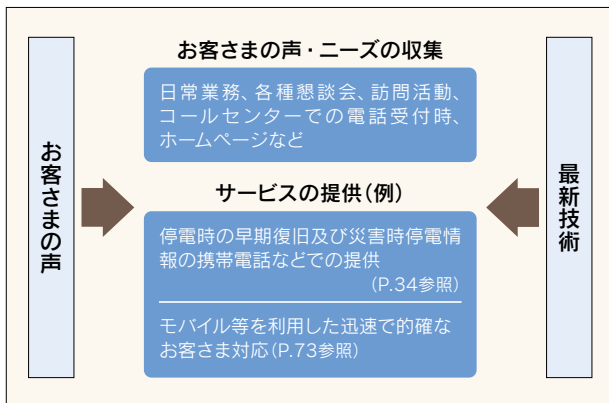
自衛隊との発電機車空輸合同訓練

お客様のニーズに即したサービスの開発・提供

●お客さまとの双方向コミュニケーションの充実

お客さま懇談会や訪問活動などあらゆる機会を通して、お客さまの声やニーズの収集に努め、ITなどの最新技術を活用し、お客さまに最適なサービスをお届けします。

▼最適なサービスの展開



●九電アドバイザー制度

九州各県の社外有識者の方々に「九電アドバイザー」を委嘱し、経営活動全般に対するご意見・ご要望を、社長、副社長など経営幹部や支店長が直接お伺いし、経営活動の参考にしています。

●お客さま懇談会

各事業所で、地域のオピニオンリーダーの方々など、お客さまとの懇談会を開催し、ご意見等を事業活動へ反映させています。

●対話訪問活動

10月の「お客さま ありがとうございます」キャンペーン期間等の様々な機会を捉えて、地域のオピニオンリーダーの方々など、お客さまへの対話訪問活動を行っています。

●お客さま対応時の「一声運動」

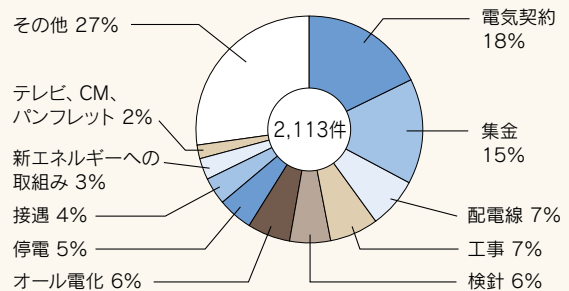
より多くのお客さまの声を収集するため、コールセンターでの電話対応時や業務中にお客さまとお話する機会に、他にもご用件がないかをお伺いする「一声運動」を推進しています。

レインボーシステム

全社員が個別のパソコンからお客さまの声を入力・検索することができる「レインボーシステム」を構築し、日常業務や各種懇談会、訪問活動等によりお客さまからいただいた声を共有するとともに、当社の業務計画への反映や業務改善事例等の集約結果を定期的に社内へ水平展開するなど、お客さま満足の向上に努めています。

▼レインボーシステム入力件数 (2009年度実績)

■分類別お客さまの声



▼お客さまの声をもとに改善を行った事例

【お客さまの声】

九電を名乗る人の訪問があったが、本当に九電関係者が不安だった。最近は何となく物騒なので、九電から注意喚起してほしい。

【当社の対応等】

当社関係者を装った詐欺・勧誘にご注意いただくため、従来からの検針票裏面や当社ホームページ等を活用した注意喚起に加え、お客さまの声をもとに、定例検針時に全てのお客さまへPRチラシを配布。(2010年1月)

●「お客さま ありがとうございます」キャンペーン

当社では、毎年10月20日～31日の12日間を中心に、日頃電気をご使用いただいているお客さまへの感謝の気持ちを込め、「九電『お客さま ありがとうございます』キャンペーン」を実施しています。

キャンペーン期間中は、経営層と社員が一体となり、公園・河川敷等公共施設の清掃活動や、当社総合研究所で育苗したハーブの街頭配布などの感謝活動に取り組んでいます。

また、文化財・高齢のお客さまの自宅等の配線診断サービスといった地域貢献活動、主要なお客さま・地方自治体等への訪問、お客さま懇談会を通じた当社事業に対する理解活動を展開しています。

2009年度は、これら従来の活動に加え、当社のシンボルスポートであるラグビー部をはじめ、運動部・吹奏楽部を活用し、地域との交流イベントを実施しました。九州各地6箇所で開催した運動部の交流イベントには約400名の子どもたちが参加し、当社ラグビー部、柔道部、相撲部等で活躍している部員が基本動作等の技術指導を行いました。

▼2009年度 主な実施内容

項目	内容	実績
感謝活動	苗木等配布による街頭活動	12箇所：5,200株
	経営幹部参加による地域貢献活動	9箇所
	事業所オープンデー	9箇所 来場者：8,253名
	配線診断サービス	134箇所
当社事業に対する理解活動	お客さま感謝訪問	訪問数：7,995名
	お客さま懇談会	39回
運動部・吹奏楽部による交流イベント	ラグビー部等運動部による地域の子どもたちとの交流イベント	6箇所 参加者：434名
	吹奏楽部によるコンサート	来場者：397名
	ソフトバンクホークスとのタイアップイベント ①王貞治氏トークショー ②野球教室	①来場者：1,408名 ②参加者：174名



浜町ベルナード観光通アーケード(長崎市)での苗木配布



城山公園(延岡市)周辺での街灯清掃



豊山神社(北九州市)での配線診断



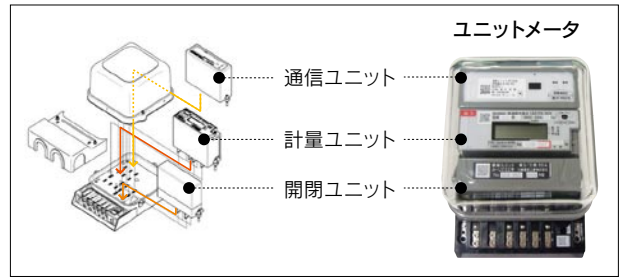
大分県立大分西高等学校での柔道部イベント

● 新型電子メータの計画的導入

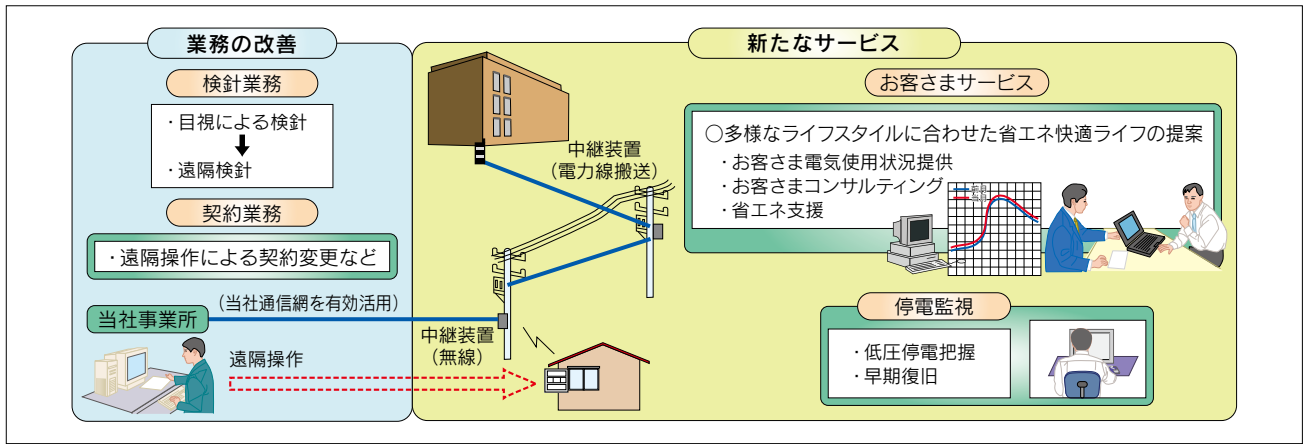
お客さまサービスの向上及び業務運営の効率化のため、通信機能を持った低圧新型電子メータ(ユニットメータ)の導入を2009年11月から開始し、今後も計画的に導入します。

低圧新型電子メータ普及後、将来的に電気のご使用状況のデータ提供、省エネコンサルティングなどによる「省エネ快適ライフ」の提案や低圧停電範囲等の把握による早期復旧、また計量関係業務の遠隔実施

による作業の効率化が期待されます。



▼ 低圧新型電子メータ普及後のイメージ



● モバイル端末等を活用した迅速かつ的確なお客さま対応

配電ケータイモバイルは、GPS機能付携帯電話を利用し、お客さま申込み対応業務や停電復旧業務など、様々な現場業務を支援するシステムです。

このシステムでは、①現在位置と作業状況を把握し現場到着時間が短縮できる、②現場で必要情報を取得し的確かつ効率的に対応できる、③セキュリティ機

能強化で情報漏洩を防止できることから、業務の高度化・効率化を図れるとともに、より迅速かつ確にお客さまのニーズにお応えできます。

なお、当社が開発・導入したこのシステムは、「MCPC award 2009」(主催：モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、後援：総務省、経済産業省)において高い評価を受け、グランプリ(大賞)及び総務大臣賞を受賞しました。

▼ 配電ケータイモバイルシステム



●電気自動車(EV)普及促進に向けた取組み

当社では、EV普及促進に向け必要不可欠なインフラ整備構築への取組みとして、電気自動車用の急速充電器[※]や普通充電器の開発を行っています。

急速充電器は2006年度から開発・実証実験に取組み、商品化の目処がついたことから、2009年9月にグループ会社のキューキから販売を開始しています。この急速充電器は、電源部と充電スタンド部を分離して充電スタンド部をコンパクト化し、IDカード等による個人認証機能を標準装備するなどの特徴があり、利用者の利便性を図っています。

また、2009年度には、普通充電器の開発にも着手し、スタンドタイプ及びコンセントタイプの2種類の充電器を開発しました。開発したスタンドタイプは、IDカード等による個人認証を標準装備し、充電電力量が確認可能な仕様で、2010年度の販売を予定しています。コンセントタイプは、「EVコンセント」として2010年3月から地場企業より販売を開始しました。このEVコンセントは、コンセント前面のQRコードを携帯電話で読み込み、インターネットを介して、携帯電話による遠隔での通電操作・状態監視(充電電力量も確認可能)・予約が行えるなど高機能で低価格を実現しています。

今後もEV普及促進に向け、インフラ利用者の利便性向上や低コスト化に向けた取組みを継続していきます。

※急速充電器は、アイミーブを充電した場合、約30分で概ね80%の充電が可能(100Vではフル充電に約14時間必要)



急速充電器



普通充電器
(スタンドタイプ)



電気自動車と急速充電器



EVコンセント

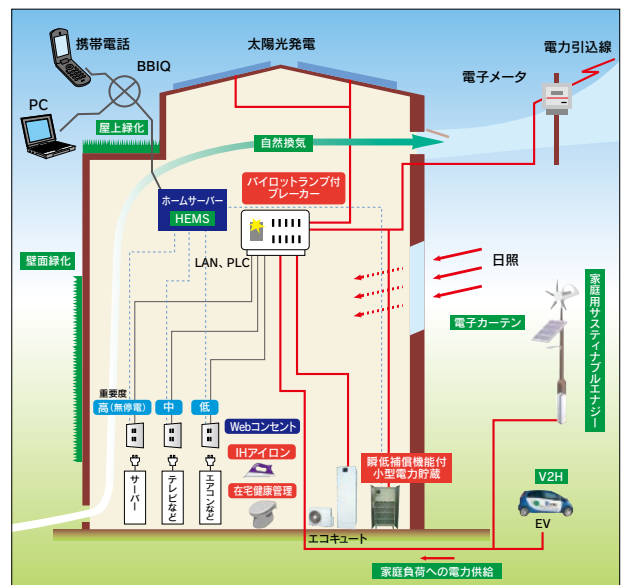
●インテリジェントハウス

電気利用技術やITを活用し、環境・家計にやさしく、安心、安全、快適な生活の提案をしていくために、実験住宅「インテリジェントハウス」を当社総合研究所に設置しました。

自然の風を利用した自動換気システムや、家電機器の運転状況を監視し負荷と電源とを最適に制御するホームエネルギーマネジメントシステムの開発など、さまざまな研究を行っています。

この実験住宅での研究を通して、省エネ・新エネやエコ技術など、時代を先取りしたライフスタイルの提案を行っていきます。

▼インテリジェントハウス



お客さまのエネルギー利用効率化に向けたサービスの提供

●省エネ快適ライフ

地球環境問題、資源エネルギー問題への関心や危機意識の高まりを踏まえ、お客さまにムリなくムダなく電気を上手に使っていただき(省エネルギー)、快適で環境にやさしい生活をお送りいただく「省エネ快適ライフ」について、お客さまと共に考え、共に取り組んでいきます。

ホームページ

キレイ・ライフ⇒省エネ快適ライフを送ろう!

具体的取組み

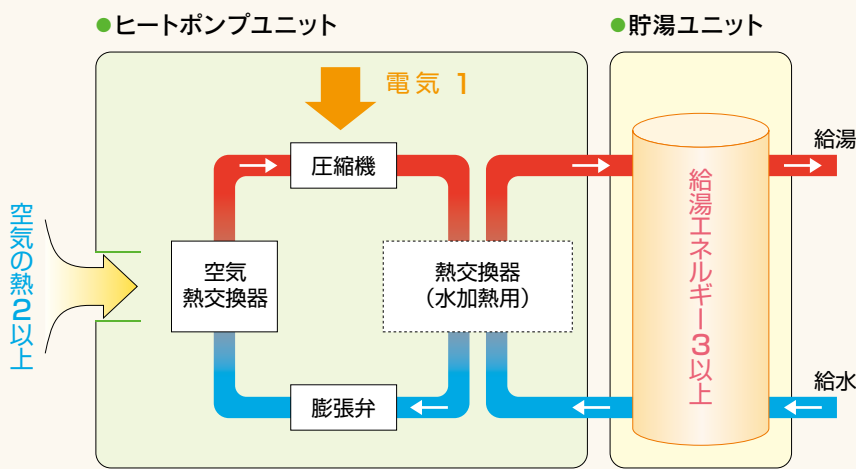
- ホームアドバイザーやイリススタッフによる「電気の上手な使い方」紹介など省エネルギーの積極的PR
- 省エネルギー効果の高いエコキュートを中心としたオール電化の普及促進

2010年度省エネルギー目標

9万トン-CO₂/年

地球にやさしい高効率電気給湯器「エコキュート」

エコキュートは、自然にある空気の熱を有効に利用するヒートポンプ給湯器であり、使用する電気エネルギーの3倍以上の熱エネルギーを得ることのできる高効率機器です。



IHアイロン

IHアイロンとは、「小さな子どもがアイロンで火傷する事故を防ぎたい」との思いから開発をスタートし、IHクッキングヒーター技術を用いたアイロン本体が熱くならないアイロンです。IHアイロンは、安全性を追求したコンセプトが評価され、子どもたちの安全・安心に貢献するデザインとして、「キッズ・デザイン賞(2009年度第3回・リサーチ部門)」を受賞しました。また、テレビや新聞等で数多く報道され、「熱くないアイロン」として話題を呼んでいます。



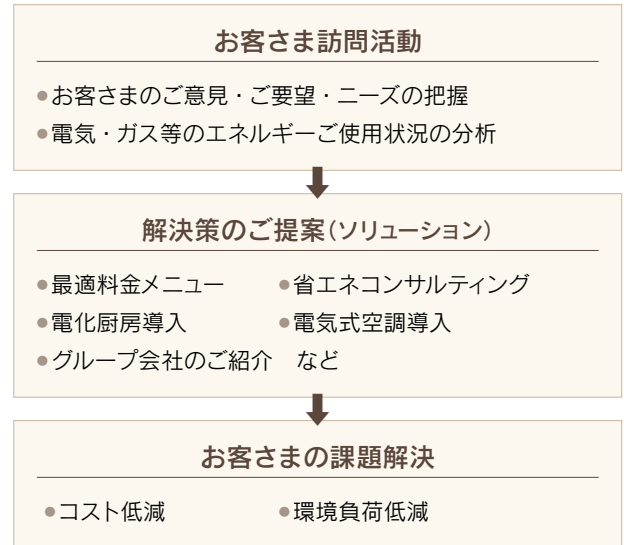
IHアイロン

● エネルギーの総合提案

法人のお客さまの抱える様々な課題・ニーズに対してきめ細やかな対応を行うため、営業所にアカウントマネージャーを配置し、電気のご使用状況に応じた料金メニューの提案や省エネコンサルティング、電化厨房・電気式空調の提案など、当社及びグループ会社の経営資源を活用したエネルギー全般に関するご要望・ご相談にお応えします。

ホームページ

法人のお客さまへ各種サービス



電化で実現!理想の厨房。

今、厨房で感じている不満や問題を、電化厨房で解決します!

- 厨房内を涼しくしたい!
- 掃除の労力を軽減したい!
- 食中毒の発生リスクを抑えたい!

Cool & Clean

火を使わないので清潔で安全性が高く快適な厨房環境を実現します。



- 誰が調理しても品質を均一にしたい!
- 火力を上げたい!
- すみやかに料理を提供したい!

Control & Productivity

作業効率、熱効率が高く操作性にも優れています。



- 省エネを実現したい!
- CO₂を削減したい!
- 立体配置で省スペース化をしたい!

Eco & Compact

燃焼がないから環境にやさしく立体レイアウトで省スペース化が可能です。



見て、触れて、実感できる!

電化厨房体験コーナー **eキッチン** を体験してみませんか!

無料!

※詳しくは、最寄の営業所、または、Webで!

九州電力 eキッチン

検索

http://www.kyuden.co.jp/service_kitchen_index

海外事業の展開

九州電力グループでは、国内の電気事業を通じて蓄積した経験、ノウハウ及び高い技術力を有する人材を活用し、アジアを中心とした海外電力事業並びにコンサルティング(電源開発、送変電設備の調査・設計及び省エネ・環境関連)を展開しています。

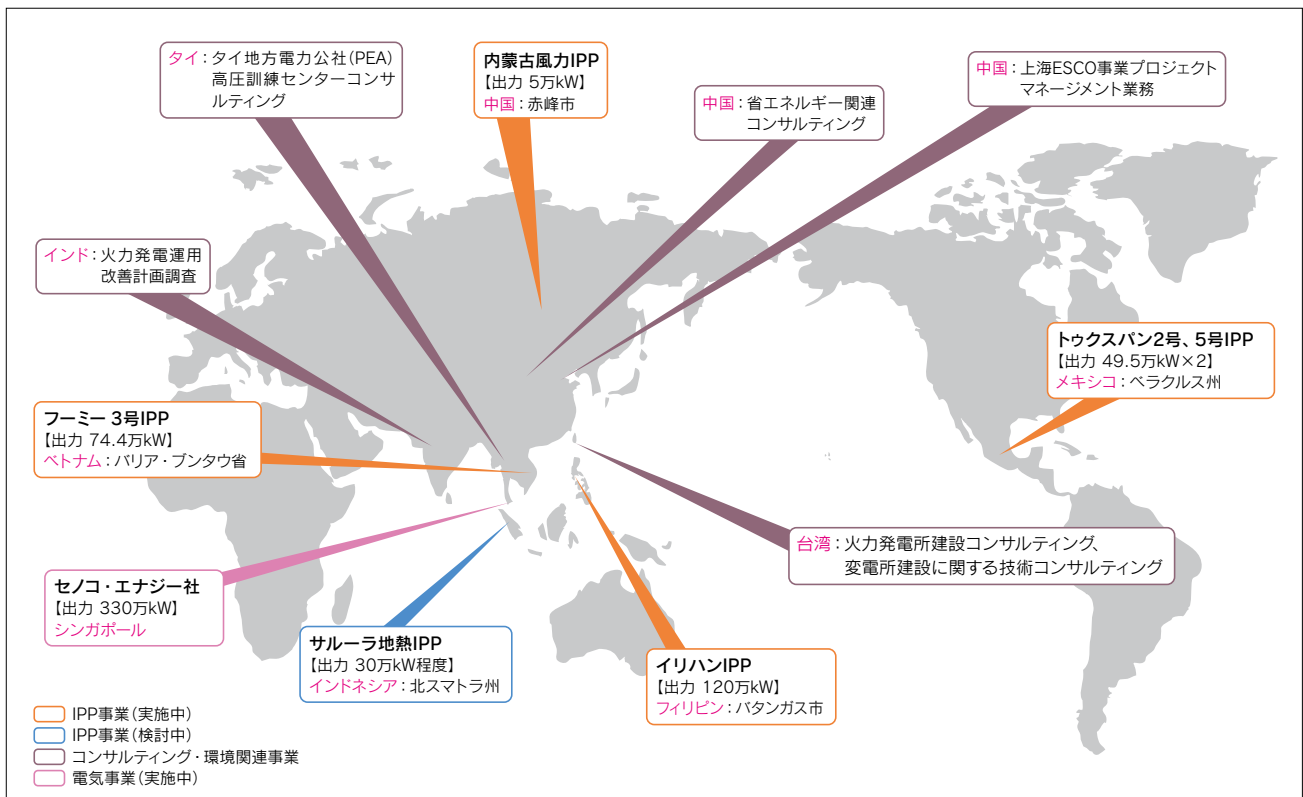
また、2009年には、情報収集や海外事業案件の支援拠点として、当社初の海外事務所をシンガポールに開設しました。

これらの取組みを通じ、需要が急増しているアジア各国における電力の安定供給、環境対策及び人材養成に貢献するとともに、新規の海外ビジネスへの展開も図っていきます。

ホームページ

企業情報 → こんな事業やっています → 海外事業への取組み

▼海外での事業展開 (2010年3月末)



シンガポール事務所の開設

九州の地理的特性から主にアジア(インドネシア、ベトナム、フィリピン、インド等)に軸足を置いた事業活動を展開するための情報収集や海外事業案件の支援拠点として、当社初の海外事務所を2009年7月にシンガポールに開設しました。

今後は、シンガポール事務所を活用して、新規案件の情報収集やアジアですでに展開しているプロジェクトの管理・運営等を行い、当社がこれまで培ってきた様々な技術やノウハウを強みに、事業活動を拡大する足場としていきたいと考えています。



開所式でスピーチする眞部社長

シンガポール事務所の執務風景

グループの経営資源を活用した事業展開

4つの事業領域における会社紹介

九州電力グループは、電気事業の関連事業として、卸電気事業、設備の建設・保守事業、資機材等の調達事業、新エネルギー等のエネルギー事業などを手がけています。また情報通信事業、環境・リサイクル事業、生活サービス事業などの「社会・生活サービス事

業」においても、お客さまや地域のニーズに即した活動を幅広く展開しています。今後もさらに、グループの経営資源を活用し、お客さまや地域のニーズに即した事業を展開していきます。

[ホームページ](#)

企業情報 → 会社概要 → 九電グループ紹介



エネルギー関連事業



設備の建設・保守

九州林産(株)	(株)九建
西日本プラント工業(株)	西技工業(株)
九電産業(株)	日本エフ・アール・ピー(株)
西日本技術開発(株)	ニシダテクノサービス(株)
(株)九電工	西技測量設計(株)
西九州共同港湾(株)	(株)プラズワイヤー



資機材等の調達

(株)キューキ	(株)コンテックス
西日本空輸(株)	誠新産業(株)
九州計装エンジニアリング(株)	西日本電気鉄工(株)
光洋電器工業(株)	日豪ウラン資源開発(株)
(株)キューヘン	
九州高圧コンクリート工業(株)	



卸電気事業／エネルギー事業

戸畑共同火力(株)	長島ウインドヒル(株)	エレクトリシダ・アギラ・デ・トウクスパン社
大分共同火力(株)	奄美大島風力発電(株)	エレクトリシダ・ソル・デ・トウクスパン社
(株)キューデン・インターナショナル	鷲尾岳風力発電(株)	キューデン・サルレーラ
大分エル・エヌ・ジー(株)	九州冷熱(株)	サルレーラ・オペレーション
北九州エル・エヌ・ジー(株)	北九州エル・エヌ・ジー・ローリー販売(株)	ライオン・パワー(2008)
西日本環境エネルギー(株)	(株)福岡クリーンエナジー	大唐中日(赤峰)新能源有限公司
(株)キューデン・エコソル	パシフィック・ホープ・ SHIPPING・リミテッド	セルビシオス・デ・ネゴシオ・デ・
(株)福岡エネルギーサービス	キューデン・イリハシ・ホールディング・コーポレーション	エレクトリシダ・エン・メキシコ
みやざきバイオマスリサイクル(株)	フーミー3・BOT・パワー・カンパニー	



情報通信事業

九州通信ネットワーク(株)	(株)アール・ケー・ケーコンピューターサービス
(株)キューデンインフォコム	鹿児島光テレビ(株)
ニシム電子工業(株)	(株)RKKCSソフト
九電ビジネスソリューションズ(株)	(株)コアラ



環境・リサイクル事業

九州環境マネジメント(株)
(株)ジェイ・リライツ



生活サービス事業

(株)電気ビル	(株)九電オフィスパートナー	九州高原開発(株)
(株)キューデン・グッドライフ	(株)九電ビジネスフロント	伊都ゴルフ土地(株)
(株)キューデン・グッドライフ東福岡	九州住宅保証(株)	福岡新都心開発(株)
(株)キューデン・グッドライフ熊本	(株)九電ホームセキュリティ	緑ヶ丘リビングサポート(株)
(株)キューデン・グッドライフ鹿児島	(株)九電シェアードビジネス	(株)キャピタル・キューデン
(株)キューデン・グッドライフ福岡浄水	(株)九州字幕放送共同制作センター	
九電不動産(株)	(有)オーク	



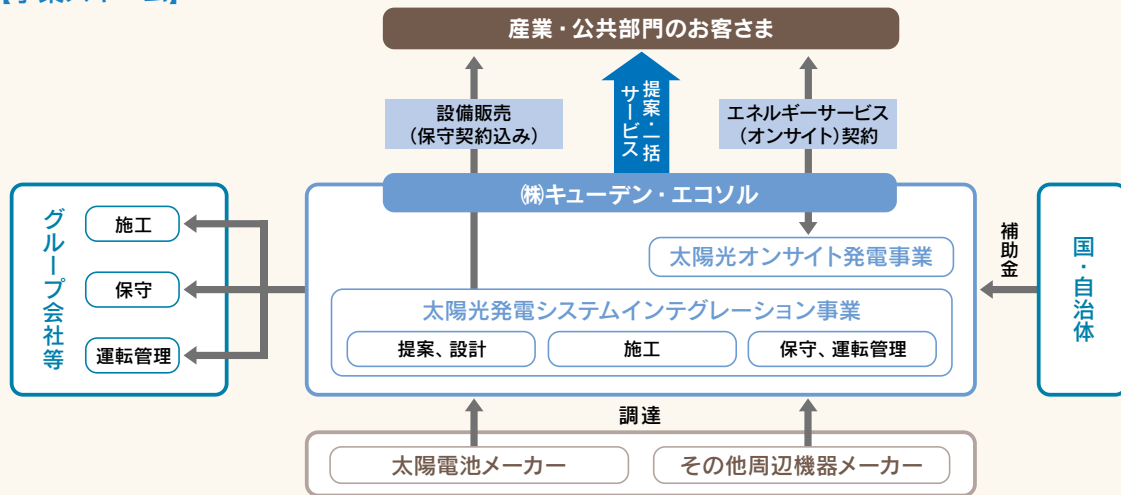
新エネルギー(新エネ)
バイオマス

九州電力では、九州における再生可能エネルギーの普及拡大に取り組んでおり、この一環として、産業・公共部門のお客さま向けに太陽光オンサイト発電事業等を行う新会社「(株)キューデン・エコソル」を2009年12月に設立しました。

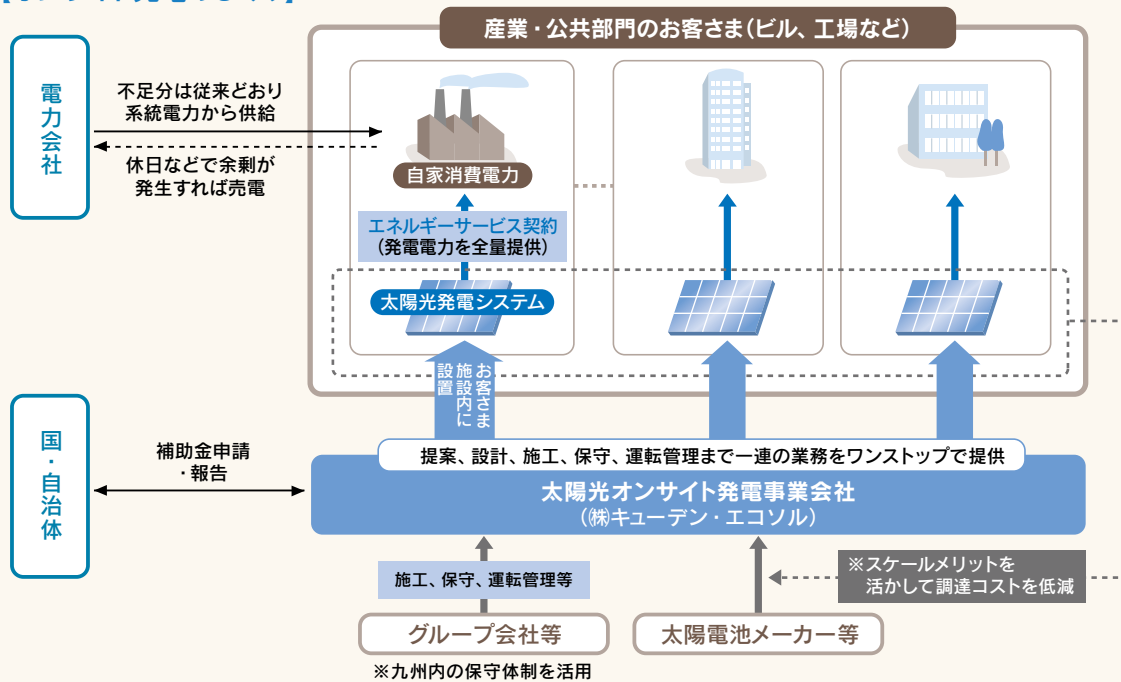
(株)キューデン・エコソルは、工場、ビルなどのお客さま施設内に太陽光発電設備を設置し、お客さまに発電した電気を提供するオンサイト発電事業の他、太陽光発電設備の設計、施工、維持管理まで一連の業務をワンストップで実施するシステムインテグレーション事業などの太陽光発電サービスを実施しています。

これまで電気事業で培った技術力やエネルギー分野の総合提案力、スケールメリットによる調達力、九電グループの総合力を活かした事業推進などにより、お客さまへ高品質で低コストのサービスを提供し、九州における太陽光発電の普及促進に寄与していきたいと考えています。

【事業スキーム】



【オンサイト発電のしくみ】



オンサイト発電のお客さま側メリット

- ①太陽光発電設備に係る初期投資が不要
- ②設備導入時の各種申請手続きをお客さま自身で行う必要がない
- ③お客さまの手間をかけずに設備の保守、運転管理も全て事業会社が実施

鶏ふん焼却発電事業 ～みやざきバイオマスリサイクル(株)～

みやざきバイオマスリサイクル(株)は、宮崎県内発生量の約6割に相当する13万トンの鶏ふんを発電所燃料として使用し、「一般家庭約17,000戸分の電気」と「焼却灰(肥料原料)」の販売を行っています。

この地元の畜産業との連携したリサイクル事業により、家畜排せつ物による地域環境問題の解決を図るとともに、鶏ふんをエネルギー変換することによって、地球温暖化防止にも貢献しています。

2009年度には、資源循環技術・システム表彰「経済産業省産業技術環境局長賞」を受賞するとともに、「新エネ百選」や「宮崎の頑張る中小企業」にも選ばれるなど、社会からの高い評価を受けています。

また、施設見学会の受入れや講演会の開催など、バイオマスエネルギーの普及啓発活動にも積極的に取り組んでいます。



事業概要	
事業場所	宮崎県児湯郡川南町
鶏ふん焼却量	13.2万トン/年
発電出力	11,350KW

▼鶏ふん発電事業の効果

焼却による減量化(1/10以下)と焼却灰肥料による資源循環
化石燃料の代替による温室効果ガス(CO ₂)の削減
地域循環負荷の軽減(悪臭・地下水の影響など)
農家個別の設備投資軽減による養鶏業の安定操業

風力発電事業 ～長島ウインドヒル(株)～

長島ウインドヒル(株)は、新エネルギー利用推進の一環として、九州電力と九電工が共同出資して設立した風力発電事業会社です。本プロジェクトが開発された長島町は鹿児島県の北西部に位置し、東シナ海に面していることなどから、年間を通して安定した風況に恵まれ、風力発電には好適地です。この長島町の山間部に総出力50,400kW(2,400kW×21基)の国内最大級の風力発電設備の建設を進め、2008年10月に営業運転を開始しました。

風力発電による年間発電量は1億kWh程度、これによる年間CO₂削減量は約4万トン相当という環境面への効果を想定しています。





エネルギー関連事業

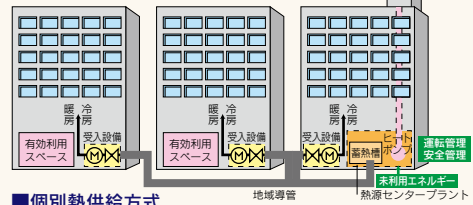
地域熱供給事業 ～(株)福岡エネルギーサービス～ <http://www.fukuoka-es.co.jp/>

(株)福岡エネルギーサービスは、熱源プラントで製造した冷水・温水などを一定地域の複数の建物に配管を通して供給し、冷暖房を行う地域熱供給を行っています。

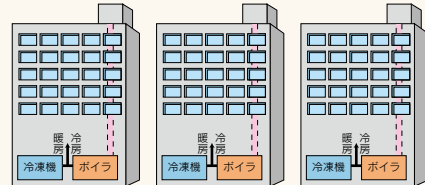
エネルギー効率の高い熱源構成としては、ヒートポンプや蓄熱システムがあり、(株)福岡エネルギーサービスは、これらに加え、エネルギーの集中コントロールや未利用エネルギーを活用することにより、更にエネルギー効率が高い運転方式を採用するなど、CO₂やNO_xの発生を低減する環境保全に優れたシステムを導入しています。

現在、供給地区は、福岡市に3地区あり、なかでも、シーサイドももち地区では、海水のもつ温度差エネルギーを活用する海水熱源ヒートポンプを採用しており、高い省エネルギー効果をあげています。

■地域熱供給方式



■個別熱供給方式

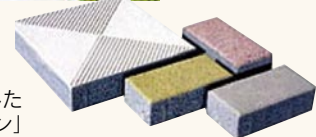


発電所環境保全事業 ～九電産業(株)～ <http://www.kyudensangyo.co.jp/>

九電産業(株)は、火力・原子力発電所の環境保全に関わる設備の運転をはじめ、石炭灰の有効利用、排脱石膏・工業薬品の販売、環境測定、燃料管理、海運仲立業の他、保険・旅行代理店業など、多角的に事業を展開しています。

なかでも、発電所環境保全関連事業のうち、設備の運転業務では、火力発電所における排煙脱硫装置、総合排水処理装置、灰処理装置、石炭灰有効利用設備等の運転を行い、環境保全に寄与しています。

また、火力発電所から産出される、排脱石膏、フライアッシュ、クリンカアッシュ等の販売を行い、限りある資源の有効活用を推進しています。



クリンカアッシュを原料にした「クールトーン」

環境緑化事業 ～誠新産業(株)～ <http://www.sei-shin.jp/>

誠新産業(株)は、電気エネルギーに関わる資材をはじめ、その関連産業において数多くのビジネスを行う総合会社です。近年は、環境・省エネ・エコ商品も積極的に取り扱っています。

なかでも、土を使用しない“サントリーミドリエ”の環境緑化システムで、屋上・壁面を緑化し、ヒートアイランド現象やCO₂問題に対応します。また“緑のアトリエ”ミドリエの創造性と柔軟性で花と緑の空間を自由にデザインしていきます。

『屋根をミドリへ、かべをミドリへ、日本をミドリへ、そして地球をミドリへ』



パフカル



情報通信事業

情報システムソリューション事業 ～九電ビジネスソリューションズ(株)～ <http://www.qdenbs.com/>

九電ビジネスソリューションズ(株)(QBS)は、九州電力の情報システム会社として、高度の安定性・信頼性が要求される電力事業基幹システムの開発から運用、保守・サポートに至る幅広い業務を担っています。

また、この電力会社のシステム関連業務で培った技術力を活用し、流通業・製造業等の一般企業に対しても、

- ITトータルソリューション
- 電子契約保管サービス
- 情報システムインフラ構築
- IT技術者派遣

などのソリューションサービスを提供しています。

今後も、情報セキュリティや個人情報保護など、企業の社会的責任を自覚し、お客さまや地域社会に貢献していきたいと考えています。



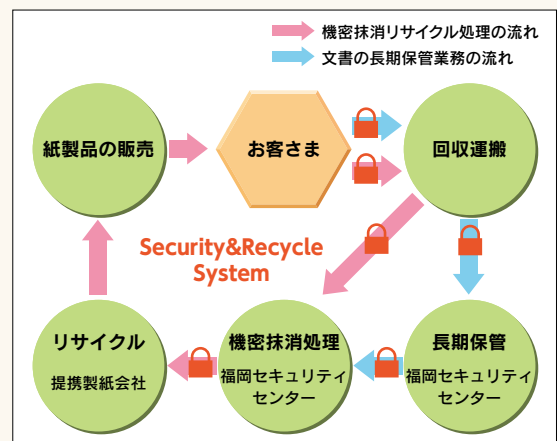
環境・リサイクル事業

機密文書リサイクル事業 ～九州環境マネジメント(株)～

増え続ける機密文書や保存文書。その処分には、機密の保持はもちろん、地球環境に配慮した処理が求められます。

九州環境マネジメント(株)では、環境に配慮した循環型リサイクルシステムを構築し、九州電力グループ企業や金融機関等から回収した機密文書を紙の種類に関係なく受け入れ、機密抹消処理を行った後、コピー用紙や紙ひも・トイレトペーパー等の紙製品の資源として再利用しています。

また、機密抹消処理施設についても、ISMS/ISO27001の認証を取得した自社処理施設であり、お客さまから回収した機密文書に関する情報セキュリティ管理も万全です。



生活サービス事業

シニアマンション事業 ～(株)キューデン・グッドライフ～ <http://www.kyuden-gl.co.jp/>

(株)キューデン・グッドライフでは、本格的な高齢社会を迎える中、お客さまに老後の豊かで利便性の高い生活の場を提供することを理念として、上質な居住空間、充実した日々の生活支援や医療支援体制などにより、安心して快適なシニアライフを過ごしていただくための「シニアマンション事業」を展開しています。これまで、福岡県福津市、熊本市、鹿児島市の3か所で営業を開始し、さらに、2010年5月には福岡市の浄水地区で新たなシニアマンション「グランガーデン福岡浄水」が開業しました。

シニアの皆さまの元気で生き生きとした、自由で活力に満ちた生活を一生懸命支えていきたい、それが私たちの思いです。



グランガーデン福岡浄水

いろいろな暮らしのすぐそばに、九州電力グループがいます。

太陽光発電

クリーンな自然エネルギーを九州へもっと広めていくために

九電工では、配電・電気・空調管の主要事業に加え、地球温暖化やCO₂排出削減に貢献するクリーンな自然エネルギーの導入も積極的に推進しています。そのひとつが、屋外に設置した太陽電池パネルで電気を発生させる太陽光発電システムです。建物の大きさや電力需要にあわせて、自由な設計を可能にする工法から、設置後のメンテナンスなど、きめ細やかなシステムを提案しています。



株式会社 九電工

TEL : 092-523-0674 <http://www.kyudenko.co.jp/>

エコキュート

オール電化でエコ。ユノカで湯の香る豊かな暮らし！

オール電化でお馴染みのエコキュート。キューヘンでは、家庭用温水器のブランド「ユノカ」から、このエコキュートを製造・販売しています。あたたかな湯の香る豊かな暮らしという名前の由来のとおりユノカ製品は、暮らしの身近で快適を届ける製品として愛用されています。もともと、電気を安定して供給する要となる変圧器の九州唯一のメーカーとして誕生したキューヘン。時代のニーズに応えた、電気温水器やエレクトロニクス技術応用機器なども幅広く手がけています。



株式会社 キューヘン

TEL : 092-713-8561 <http://www.kyuhen.jp/>

ホームセキュリティ

大切な家を、家族の絆を、守ります。

侵入者や火災などの、もしもの事態に室内に設置した防犯カメラの画像をケータイ電話ですぐに確認できる「ホームセキュリティサービス」。ローコストでハイクオリティな安心を手にすることができます。「明るくナイトサービス」では、ケータイを使って外出先から照明やエアコンのオン、オフを可能にします。また、「安心・見守りサービス」では、離れてくらす家族の様子をメールでお知らせする家族の絆をつなぐサービス。いろいろなシーンにあわせた安心が選べます。



株式会社 九電ホームセキュリティ

TEL : 0120-306-940 <http://www.qhs.co.jp/>

蛍光管・乾電池のリサイクル事業

使用済みの蛍光管も、実は大切な資源です。

一見、ゴミと分別されがちな使い終わった蛍光管も、ジェイ・リライツの技術をもってすれば豊かな資源に変身。ガラスや金属類などを可能な限りリサイクルし、日本初となるリサイクル原料を活用した蛍光管の製造(OEM)・販売をしています。環境への影響が懸念される蛍光管に含まれる水銀もリサイクルすることで、環境汚染の防止にも貢献しています。また、蛍光管のほか、再資源化の要望が高い乾電池リサイクル事業もスタート。資源循環型社会の実現へ向けて技術革新を進めています。



株式会社 ジェイ・リライツ

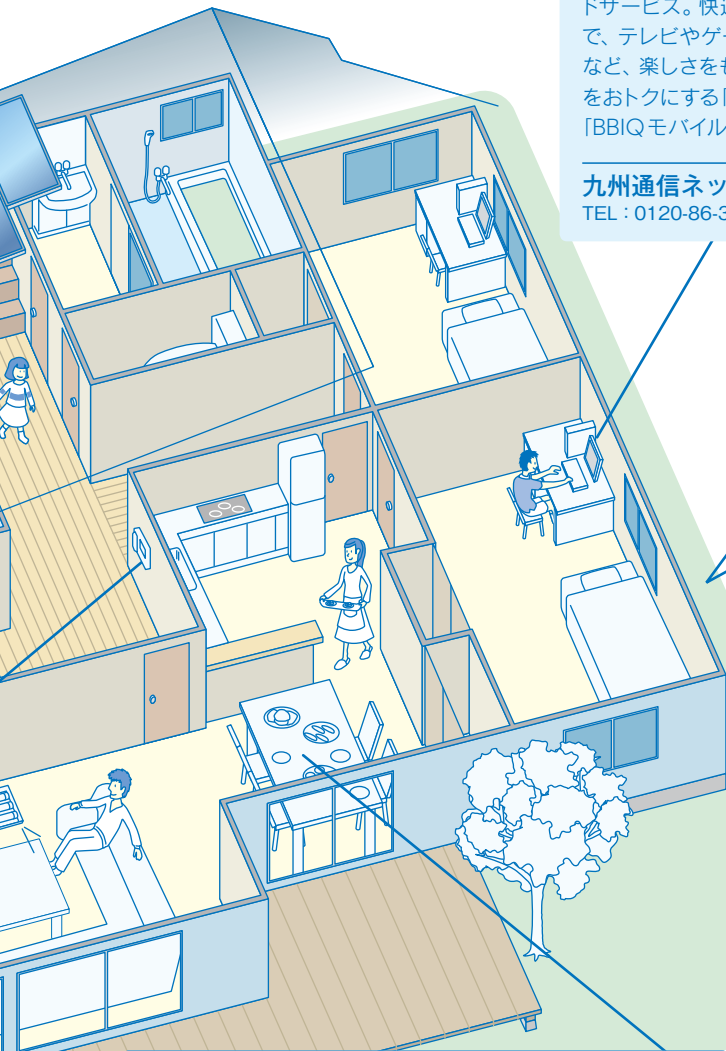
TEL : 093-752-2386 <http://www.j-relights.co.jp/>

光ブロードバンドサービス

BBIQで快適魅力あるネットライフを。

「BBIQ」は九州電力グループのQTNetがお届けする光ブロードバンドサービス。快適なインターネットはもちろん、光ならではの安定性で、テレビやゲームにつないで、ビデオレンタルやオンラインゲームなど、楽しさをもっと広げることができます。また、ご家庭の固定電話をおトクにする「BBIQ光電話」や、外出時のモバイル環境をご提供する「BBIQモバイル(EM)」など、オプションサービスも充実しています。

九州通信ネットワーク株式会社(略称: QTNet)

TEL: 0120-86-3727(QTNetお客さまセンター) <http://www.bbiq.jp/>

オール電化住宅分譲

人と地球環境との調和した
住まいづくり、街づくりを進めています。

「緑とやすらぎのある住宅都市づくり」を目指し、「森林都市(株)」として設立され、2008年に「九電不動産」へ社名を変更。大規模住宅地の開発や九州電力の社宅・寮の保有・管理などを通じて獲得した住環境に関するノウハウを活かし、分譲マンションや戸建住宅など、お客さまのライフスタイルに合わせた安全で快適なオール電化住宅を提供しています。



九電不動産株式会社

TEL: 092-761-4060 <http://www.qfk.co.jp/>

木造注文住宅「九州林産の家」

いつまでも健やかに暮らせる
環境にやさしい住宅を
お届けします。

九州林産は、九州電力の社有林の育成・管理からスタートし緑化事業にまで活躍のフィールドを広げ、近年では森を育むと同時に伐採された木を活かすために、木造注文住宅の建設事業を展開しています。「九州林産の家」は、世界レベルの森林管理認証(FSC)に基づいて生まれた国産無垢材を使用し、木材の加工・流通・建築まで自社一貫管理体制のもと「丈夫で長持ちする住まい」「健康的で環境にやさしい住まい」をお届けしています。



九州林産株式会社

TEL: 092-562-3015(住宅部) <http://www.q-rin.co.jp/index.html>

建築確認・住宅性能評価

建物づくりに信頼と安心をお届けします。

一生に一度の大きな買い物と言われるマイホーム。せっかくなに入れたいマイホームも性能に著しく問題があったり、生活に支障をきたす重大な欠陥があったりしては大変です。九州住宅保証(株)は、建築確認・検査・住宅性能評価など、第三者機関として公正・中立な立場で建物づくりの総合サポートを行うことで、お客さまに信頼と安心をお届けしています。

九州住宅保証株式会社

TEL: 092-771-7744 <http://www.kjhc.co.jp/>

食料品製造・販売事業

九州自慢の「旨いもん」を中心に、
こだわりの「食」をお届けしています。

九州といえば「食」も欠かせない魅力のひとつ。そこで九電産業では、九州自慢の「旨いもん」を中心とした「食」の発掘に力を入れています。これまでも、大分県九重山系の天然水と宮崎・鹿児島県産茶葉を使用した「新緑茶」の製造・販売、さらには熊本県天草の海水を使用し平釜で煮詰めて造られた「天草の塩」の製造・販売を行うなど、九州各地のこだわりの「食」を全国へお届けしています。また、こうした商品は、九電産業が運営する「九州発ネットショップ『こだわり直Q便』」でお買い求めいただけます。



九州産業株式会社 ☎ 0120-66-9393

「九州発ネットショップ『こだわり直Q便』」 <http://www.kodawari-q.com>